



③ 龍王山&龍王山城跡

龍王山は奈良盆地東側の青垣山の中で1番高く、標高586メートル。その山頂の南と北の両峰に、中世の豪族・十市氏が築いた“別城一郭の構え”の龍王山城跡がある。北城跡は南城跡より60メートルほど低く、当時の石垣（立ち入り禁止）が残る。山頂へは、石仏が多く残され、急坂だが短距離の長岳寺からの北ルート、緩傾斜で距離が長めの南ルートと、天理ダム経由の3ルートがある。

龍王山山頂は
仰ぎ見る場所によって、
北(525m)と
南(586m)の峰の高さが
違って見える



② 高野山真言宗 長岳寺

弘法大師が開いたと伝わる古刹。花の寺で知られ、四季折々に趣のある美しい庭園、日本最古と伝わる楼門と玉眼仏の本尊・阿弥陀三尊像など必見。境内(庫裡)で、三輪そうめんを味わえるのもうれしい。

☎ 0743-66-1051
📍 天理市柳本町508
🕒 9:00~17:00
👤 大人350円



コシと味が良い2年もの古(ひね)の三輪そうめん(700円)。夏は“冷やしそうめん”、冬は“にゅうめん”で。
🕒 11:00~16:00 (土日祝以外は要予約)
🚫 不定休



④ 龍王山古墳群

龍王山の西斜面、標高150から450メートルに横穴式石室の円墳約300基、横穴だけでも約300基の計600基が存在するという珍しい古墳群。その理由は不明で、謎のベールに包まれている。



天理市山の辺の道ボランティアガイドの会
☎ 0743-63-1001 (天理市役所産業振興課内)
※要事前予約/交通費(1,000円/1人)と
昼食(時間帯による)必要



城にまつわる
怖い話

ジャンジャン火伝説
大和随一とも言われた中世城郭の龍王山城(別名:十市城)が、信貴山城の松永久秀に攻め落とされ(1568年7月末頃)、城主だった十市氏の怨霊が火の玉になったという伝説。今にも雨が降りそうな夏の夜、城跡に向かって「ホイホイ」と叫ぶと、城跡の方から火の玉が「ジャンジャン」と唸りながら飛んできて襲われ、また、この火の玉を見た人も、黒焦げになるのだとか。

レンゲが実らない
龍王山城の水を絶とうとした信貴山の松永久秀の家来が、城の水源地にレンゲの花を浮かべて水の流れる方向を見定め水を断った。そのため城は断水に苦しみ落城、城主・十市氏の恨みなのか、それからレンゲの花に実がならず、花さえ咲かない時もあると伝わる。

Memo



龍王山山頂(南城跡)から春霞のかかった奈良盆地の眺望(平成26年4月中旬撮影)



奈良盆地を一望する 龍王山山頂を目指してウォーク!

龍王山山頂から望む奈良盆地の景色は格別! トライアングルを描き浮かぶように見える大和三山、卑弥呼の墓とも言われる箸墓古墳をはじめとする古墳の数々。正面には金剛・葛城山、二上山、信貴山。空気の澄んだ日には明石海峡大橋も見えろ。京奈和道を目で追いつながら、日本の始まりの地を眺めれば、歴史探検家気分にか。今月は中世の山城があった龍王山山頂を目指す。◇取材協力◇天理市山の辺の道ボランティアガイドの会



松永さんへし……